

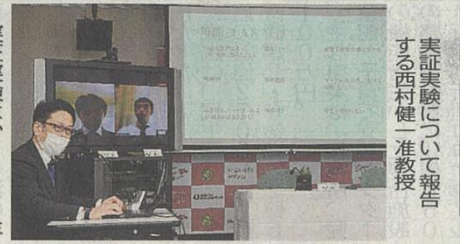
令和3年3月2日付・山陰中央新報

ロボット使う教育 現場で大きな成果

県立大と益田市 実験報告

益田市の特別支援教育の充実を目指し、県立大と市教育委員会が共同で行った実証実験の成果報告会がこのほど、松江市浜乃木7丁目の同大松江キャンパスであった。同大人間文化学部の西村健一准教授（特別支援教育）が、ロボットなどをを使って同市の小中学校教員らを指導し、現場の能力向上につながったとした。

実証実験について報告する西村健一准教授



実証実験は、2020年に結んだ包括協定に基づき行った。

報告会で西村准教授は、授業時間に席を離れるなど場に応じた振る舞いが難しい発達障害の児童が全国的に増加傾向で、県内の小学校でも特別な支援を必要とする児童の割合が増えている、と背景を説いた。

20年8、9月に益田市内の小中学校向けに児童の問題行動や原因、支援方法を特定する手法を伝授したほか、ロボットを使い遠隔で同市立吉田小学校の授業参観を行い、児童を支援する教職員の力を高める効果があったとした。

報告会に出席した益田市の柳井秀雄教育長は「現場で大きな成果が出てい」と感謝。県立大の岸本強副学長は「引き続き地域のために協力する」と話した。

（糸賀淳也）

紙面編集・立花 佑祥

就職内定 コロナ禍でも好調

島根県立大出雲100%

浜田、松江も前年度超え

島根県立大の就職内定状況 (2020年度卒業予定者、2月末現在)

	内定者数 (人)	内定率 (%)	県内企業の 割合(%)
総合政策学部	186	93	17.7
看護栄養学部看護学科	73	100	43.8
別科助産学専攻	11	100	54.5
保育学科	38	92.7	71.1
総合文化学科	37	92.5	83.8

新型コロナウイルス禍で全国的に就職活動をする若者に逆風が吹く中、島根県立大（本部・浜田市野原町）の内定状況が好調に推移している。出雲キャンパスは全学部・学科で内定率100%を達成し、浜田、松江両キャンパスでも2月末時点で前年度同期を上回る。厳しさを覚悟していた同大は想定外の結果に喜ぶが、理由は不明という。

出雲キャンパスの看護栄養学部看護学科（4年制）、別科助産学専攻（1年制）は就職希望者全員が内定を得た。2月末時点で浜田キャンパスの総合政策学部（4年制）の内定率は93%（前年度同期82・3%）、2年制の短期大学部（松江キャンパス）も保育学科が92・7%（前年度同期91・7%）、総合文化学科が92・5%（同86・8%）で、

いずれも前年度より上昇し新型コロナウイルスの影響は見えない。

同大によると島根県内、県外を問わず、企業の求人数はコロナ禍以前と比べ変化はないという。県外出身者が約7割を占め、学生がUターンなどで県外就職する傾向の強い浜田、逆に県内出身者が多く学生の地元志向も強い松江とキャンパスごとの性質が異なるが、内定率に差は出ていない。

内定率は昨秋段階から既に前年度同期を上回り、好調を維持し続けてきた。5日の定例会見で理由を問われた清原正義学長は首をかしげ「分からない」と述べるにとどめた。

（板垣敏郎）

鈴木 彩女さん

(松江市浜乃木7丁目)



島根県立大短期大学部(松江
市浜乃木7丁目)の1年で松江
市の怪談や伝承に着想を得て、
美少年キャラクター「怪談男児」
を考案した。今後はイラストを組み合わ
せた音声ドラマの公開を予定し「松江の
知名度向上につなげる」と意気込む。

文豪が登場するゲームで小泉八雲のフ
ァンとなり、より深く学ぼうと横浜市中
から同大に入学。学友や地元の友人と9人
でプロジェクトを立ち上げ、キャラクタ
ーデザインにイラスト、ドラマの脚本な
どで中心的役割を担っている。

八雲が説いた、自分の価値観に固執せ
ずに広い視野で物事を捉える「オープン
マインド」に強く共感している。「プロ
ジェクトが八雲の顕彰につながればうれ
しい」とほほ笑む。21歳。(中島諒)

八雲顕彰につなげたい

隠れた魅力 学生目線で

SNS観光大使 成果発表



取り組みを発表する学生

学生目線で島根の情報発信に取り組み「県SNS観」に任命された県立大松江キ

ヤンパスの学生が9日、松江市浜乃木7丁目の同大で発表会を行った。県内観光地や文化を取材し、情報発信に取り組み中で地元の魅力を確認できたという。

同プロジェクトは県観光振興課と同大が2019年度から実施。20年度は、同大人間文化学部、短期大学の3グループ12人が参加し10、12月に県内の観光地を取材。21年2月から県のインスタグラムとフェイスブックで学生の記事と写真を複数投稿し、既に2万人が見た投稿もあるという。

この日は岸本強副学長や教員、県の担当者を前に発表。奥出雲町や出雲市、大田市の「映えスポット」やグルメを取材したグループは、同世代を対象に短く分かりやすい文章を意識したと説明。松江市島根町の民俗文化や郷土食を取材したグループは、地元の人も知らない隠れた魅力を知ってもらえるように意識したと

（糸賀淳也）

コロナ禍 元気づけたい

不安感や心地悪さをアートに

県立大の福井准教授制作

県立天人間文化学部 松江市浜乃木7丁目
の福井一尊准教授(44)＝美術教育学が、新型
コロナウイルス禍で「変化した世界を表現した
作品を制作している。「見えない敵」と戦う不
安感や、オンラインでの交流の心地悪さなど、
言葉にしづらい感情をアート作品として可視化
し、見る人を元気づけたいと願っている。

(増田枝里子)



作品の仕上げをする福井一尊准教授

つながる 思い込め

専門の彫刻のほか、絵画
や空間作品も幅広く手掛け
る福井准教授。この1年は、
作品とコロナを切り離すこ
とができず、この時代に生
きる自分や人類、地球のこ
となど、浮かんだイメージ
を7種類の作品に落とし込
んだ。

ひときわ目を引くのは、
最大で直径約1.2メートルの大
きな黒い球体の作品。砂
や石など砂利をくっつけ、
表面はつやのある部分と、
ない部分を混在させ「巨
大な不安」を表現した。
コロナ禍で欠かせない品
となった不織布マスク一枚
は鮮やかな絵の具で染め
た。ネガティブな存在に
色を付けることで、印象
を「ポップ」に変化させ



鮮やかな色彩を放つ一枚一枚はよく見ると不織布マスクだ

た。
「つながること」を感じ
させる作品では見る人の
空想が広がる。生命の象徴
として「花粉」を模した黄
色い粉を前面に貼り付け
たびょうぶには、USBジ
ヤックが並ぶ。延長コード
をつなげた先にともった
明かりの下には、動物の頭
蓋骨の型が置かれている。
人との距離を保ち始めた
世界でも、人は人とつな
がるうとする存在である、
というメッセージを込め
た。
福井さんは「今起きてい
る事態を受け止めながらも
楽しく、元気になってほし
いという思いを込めた。こ
の空間に立ち、自分が何を
感じるか確かめてほしい」
と呼び掛けた。
作品は13、28日、岡山県
真庭市の勝山文化往来館ひ
しおで開かれる「つながる
ものたち 福井一尊展」で
展示される。水曜休館。

県立大がICT活用

特別支援教育充実へ

県教委、NTTと連携

県立大が今春、県教育委員会やNTTドコモ中国支社と連携し、県内の特別支援学校でICT(情報通信技術)を活用した教育の充実に乗り出す。最新機器を用いて障害のある子ども

ちの支援拡充に取り組むほか、ICTに精通した特別支援教育の人材を育成する。同大では、人間文化学部

益田市や隠岐の島町で特別支援教育に関わる教員らの指導助言を行ってきた。今回、3者で連携協定を結んで特別支援学校全12校に取り組みを広げる。具体的には、NTTドコモが提供するアバターロボット「new me(ニューミー)」やテレプレゼンスロボット「kubi(クビー)」を活用し、障害のある子どもへの遠隔授業などに役立てるほか、教員らの

ICTに関するノウハウを高める。18日に松江市浜乃木7丁目と同大松江キャンパスで同大の清原正義学長と県教委の新田英夫教育長、NTTドコモ中国支社の白川貴久子支社長が協定書に署名した。清原学長は「県立大が県内の特別支援教育の拠点となり、地域に貢献できればうれしい」と話した。(糸賀淳也)

受け身はダンゴムシ

キーワードで幼児発達教育 県立大生 柔道参考に研究

松江

島根県立大人間文化学部（松江市浜乃木7丁目）の学生が、益田市在住の柔道家の幼児向け指導方法を、幼児の発達教育に生かそうと研究している。受け身の際に取るべき姿勢を「ダンゴムシ」などと分かりやすいキーワードを使う点に着目した。21日に福祉関係の学会で研究成果を発表する。（糸賀淳也）



柔道教室の動画をみて、言葉の研究を行う持田祐里さん
松江市浜乃木7丁目、島根県立大松江キャンパス

学生は、同学部3年で保育教育を学ぶ持田祐里さん（21）。体を大きく動かし、バランスを取る柔道の動きが、運動機能に関わる神経や筋肉の発達につながる。そして、柔道をヒントに、運動の苦手な子ども向けの運動機能育成プログラムを研究してきた。

その過程で、益田市在住の元体育教員で柔道2段の矢富修子さん（69）が、市内の保育園で柔道教室を開いて受け身を教え、けがの予防や軽減につなげていることを知った。

矢富さんの指導方法を分析したところ、背後から押された際に取る前受け身の手の形は「三角おむすび」▽横受け身の練習でうづくまる姿勢は「ダンゴムシ」などと12種類のキーワードを使うことに気づいた。指導を受ける幼児はキーワードに反応し、素早く受け身の姿勢を取っていた。

動きを連想しやすく、端的なキーワードで伝える手法は、幼児の運動機能の発達を促す教育に応用できるとみて、矢富さんの指導方法を事例として広く紹介することにした。学会で発表

するほか、書籍にまとめる予定。
持田さんは「矢富先生の指導は分かりやすく効果的だ。多くの人に知ってもらいたい」と意気込んでいる。